也、古書ニ埦ヲ不用シテ、垸を假り用たるは、埦ノ字、俗字ニハ一引を加ヘテ垸ト書ク、宀の下ニ死を書く故、死ノ字を忌みて、垸ノ字を假り用ルナルベシ、字體ノ似たる故ニ、押テ假り用る歟、

○按ズルニ、埦飯ノ事ハ、禮式部埦飯篇ニ詳ナリ、參看スベシ、

〔類聚名義抄三〕椀クホテ、コロモハリ、盌正、マリ、モヒ、

〔伊呂波字類抄和雜物〕椀ワン茶椀、金椀、

〔下學集下器財〕椀ワン

〔撮壤集中家屋〕椀ワン見ニ和名鋺注ニ

〔運歩色葉集和〕椀ワン

〔物類稱呼四器用〕椀わん飯椀、汁椀、菜椀等の品類あり、西國及北國にて、ごきと云、東國、中國、四國にて日用の飯器を宏やうぎと云、相摸、安房、上總、下總、武藏邊に至るまで、かうだいと云、江戸は勿論、其國々の驛舍にては、かうだいとは稱せず、わんとのみよぶ也、

〔三才圖會四十器用〕碗

黃帝時、有ニ甯封人一、爲ニ陶正一、此陶之始也、或言桀臣昆吾所ニ作一、非、今之曰ニ碗一、曰ニ盌一、曰ニ碟一、制雖ニ不同一、皆屬ニ陶耳一、

〔延喜式十七內匠〕銀器○中略

水鋺一口、徑六寸五分、深一寸五分、料銀大一斤二兩、炭五斗、和炭一石二斗、油一合五勺、長功九人、火工二人半、轆轤二人半、磨二人、夫二人、中功一十七人半、工一十二人大半、夫四人大半、短功十二人、工一十人、夫二人、

漆供御雜器○中略

大椀一口、徑八寸六分、深三寸、料漆一合七勺、貲布一尺、掃墨四勺、綿二兩、功半人、

中椀一口、徑七寸八分、深二寸、料漆一合四勺、貲布九寸、掃墨四勺、綿二兩、功半人、

盌製作